

810778

二

李鴻章遺稿

2-0 0 6 4

0174

810779

至意
暗號

受第三五號 本年三月廿五日 時里分 著

本日四時頃 西園全權大臣、會合終り、會合ノ協
所より旅館へ歸ル途中 路傍ニイミ居ル群
衆ノ中より 驛馬縣民小山六之助ナル者 (其事)
ピストルニテ 李鴻章ヲ打ナリシニ 眼ノ下クワン
骨ノ辺ニ中リ 玉中ニ止リ 居リ 依テ直ニ其旅
館へ連シハミ 隨行ノ醫者ニテ 療治中ナリ 犯
罪者ハ立電ニ捕縛セシメリ 其在リ 庫ヲ伊
孫令後大臣及本大臣ハ早業 其旅館ニ到テ 訪
問シ又 醫者ヲモミ出セリ 又 電信ニテ 佐藤軍
醫總監ニ呼寄セ 中ナリ 貴官ハ此事ニ要ラ 包マ
ズ 外ニ有ル 使ヘ 話サシ 談ニ 使等ノ 話シ 振ラ 一々

外務省

電報ニテ申送ラルベシ

馬関

陸奥大臣

林次官

Nissi, Petersburg.

Aoki, Berlin.

Loni, Paris.

Kurino, Washington.

Ohyama, Vienna.

Shabané, The Hague.

Kato, London.

Takahira, Rome.

三月三十一日
電送第 號

Today about 4 p.m.
meeting of Plenipotentiaries of Japan
and China having been closed
李鴻章 proceeded to his temporary
residence provided for him by
the Japanese Government. On
the way fanatic named 大之次, 平氏, 群馬縣, age 26 fired
a pistol at 李鴻章 hitting him
near the cheek-bone and the
bullet remained inside. 李
鴻章 was helped into his residence

810750

電送第 號

and under treatment by a surgeon
of his suite. The would-be assassin
was arrested on the spot. On
hearing of untoward event
Count Ito and myself immediately
called at 李鴻章's residence for
enquiry at the same time sending
Japanese surgeon, besides 佐藤軍
医佐監 is being telegraphed for.
Be frank regarding this event
not concealing the fact. Surgeon's
opinion is that at present there
is no danger to life. Telegraph
how the public and
Government received this
intelligence.

Matsu
Sent. (Shimonoseki) March 24, 1895.

三十八年三月二十四日午後

京城

井上公使

馬関

倭員外務大臣

本日四時頃西國全權大臣、會合了り會合場所より
旅館へ帰ル途中路旁に群集の中より
群島知事改小山大之次郎者(二十六年)ピストルヲ李鴻
章ヲ撃ちナメリシ目、下顔骨ノ邊ニ當リ彈丸中ニ
入り居り因テ直ニ旅館へ連シテ随行醫者ヲ療
治中ナリ犯罪者ハ立トコニ捕縛セラレタリ此後ソノヤ
倭全權大臣及本大臣ハ早速其旅館ニ至テ訪問シ又
醫者ヲ出セリ今又電信ニ依テ孫軍醫從監ヲ呼ビ寄
セ佐藤石黒ノ西軍醫從監明日当地へ來ル旨ナリ

明治 年 月 日
同 年 月 日
日 起 草
日 發 清

次官ノ命

主任

暗號

電送第三三號
明治九年三月廿四日
午後九時發

馬丁

佐藤外務書記官 林外務次官

李鴻章員傷ノコトハ當地ヨリ海外ニ電

報スルヤ

外務省



810782

三月二十五日午後七時七分發

馬関

陸奥外務大臣

東京國民新聞

徳富猪一郎

左、慰問状ヲ李氏ニ御取次アリテ望ム
日本國民ノ閣下不慮、以テ厄ヲ歎惜セリ是レ狂漢
ノ為ス所日本國民ノ意思、正々堂々唯ニ正ヲ履義
ニ仍リ其道ヲ歩サント欲ス故ニ予ハ日本國民ノ興
論ヲ代表スル信ヲ日本帝國ニ託ス有力ナル國民
新聞ヲ代表シテ慰問状ヲ呈ス況ニ幸ニ我々民
意、意實情ノアルトコロヲ知り安心且チ自愛セヨ

2-0 0 6 4

0:00

二十八年三月二十五日正午發

馬關

伊藤總理大臣

京城

井上公使

陸軍外務大臣

貴電ニ依ル容易ナラン出来事起リ御心配
ノ程恐家々ノ候アリ就テ其後ノ事ハ如何モ
ハ御見込ナラヤ且ツ又亦モ傷ハ生命ノ障ハ
ニキヤ否ヤ御返電ヲ待ツ

外

務

務

810783

壬午年三月二十五日發

京城

井上公使

馬関

陸奥お務大臣

今朝錢 天皇陛下より特ニ石黒佐藤ノ西軍
醫西總監ヲ當地ニ遣ハサレ診察スルトコロニ依レバ
勇傷ハ今日ノ所ニテハ危殆ト云フ程ニマダズト云フ
藤伯ハ唯今度迄ハ危殆ト云フ程ニマダズト云フ
ル也

2-0064

壬午年三月二十五日

東京

馬関

黒田樞密院議長

伊藤総理大臣
陸奥外務大臣

「スクリッパ」ヲ招ク事ニ付御注意ノ段敬承セリ
然ルニ今朝廣島ヨリ御思召ヲ以テ石黒佐三郎
西軍医監事ヲ只今診察中ナリ其結果
治方更ニ相談ニ及ブ

810784

壬午年三月二十五日發

東京

三島

東田松太郎院議を

佐々木外務大臣

李鴻章の病は今朝石見佐藤と軍医総監
診察の途々を急病に陥り死す。此トモ、ドウト
シクリバアレ、診察の望みがある。此トモ、ドウト
ハ本に接し取り計アリタシ

2-0064

0103

810785

暗號

明治 年 月 日
同 年 月 日
日 起 草
日 發 遣

主任

電送第二四二
八月三日
午後一時

馬關

佐藤外務書記官 林外務次官

外務大臣

獨逸公使唯今來省曰ク休戦ニ付テ日本

ヨリ要求ノ箇條ハ北京ヨリノ電報ニ悉ク承

外務省

知セリ然レドモ今言フヲ能ハズ又タ李鴻章

ノ事ハ歐羅巴ニテ甚タ惡感情ヲ起スコト

疑ナシ之レト似ヨリノ例ヲ考エルニ數月前モ

ロフコノ講和使節ガ「マドリッド」ニ來リ王宮

ヨリ送リタル馬車ニ乗ラントスル時半狂人ナル

非職陸軍士官ガ不意ニ拳ヲ擧テ使節ノ

面部ヲ打テタリ回リ教徒ニ對シテハ此上ナキ無

禮ナシ故スペイン政府ハ「モロッコ」ニ謝罪ノ使

810786

ニ即ヲ送リ且ツ和睦ノ要求條件ヲ大ニ寛
カニスルノ止ムコトヲ得サルニ至レリト右ノ先例ハ
「タイムズ」新聞紙ニテ搜索イタシ見出し此ヲ
郵送スベシ

外務省

2-0064

0:05

12

時
號

810787

明治 年 月 日
同 年 月 日
起草
發遣

主任

電送第三四號
明治六年三月五日
午後〇時七十分發

三條 伊藤 外務省次官 林外務次官

外務大臣へ

英法諸國書状官來省此後ノ事件ハ甚ク
歎カレシキ況英歐洲ノ感情ハ甚ク悪カルベシ
外務省

ト云フ外言ナシ求ムル使來省曰ク歐米威
怖甚ク惡シカラシ當鴻章ハ日本政府ノ保護下
ニ於テ其指定ノ地ニ送ラレタル使節ニシテ
其保護屬カズシテ裁判ヲ繼續スヘキコト
然レガレ地位ニ陷リタル者ナハ更ニ裁判ヲ
為シ得んヨク主ツテ裁判ハ中止シ日本
政府ハ彼ノ求ムル休息ヲ欲スル外ナルベシ
佛公使ハ書記官ヲ送リテ事實ヲ問フセタル

ノミナリテ改る使ハ本系に居ラス故に未ダ
東省セズ

外務省

0107

810789

至急
暗號

明治
年 年
月 月
日 日
起 起
草 草
日 日
發 發
遣 遣

主 任

電 第 三 五 號
後 一 時 五 分 發

馬 丁

佐 藤 外 務 書 記 長 林 外 務 次 官

外 務 省 長

本 日 鴻 章 負 傷 事 件 見 報 為 之 電 報 又

物 不 可 言 之 事 又 ナ キ ヤ ラ 同 合 事 業 者 官 公

外 務 省

共 數 多 ア リ 右 事 件 ナ キ ヤ

省 務 外

810790

電受第三四六號
(明治二十八年三月五日午前二時四十分着)

留地ヲ既ニ海外ニ知ラセタリ

一ノ系
佐藤外務書記官

林外務次官

2-0064

0:00

二十八年三月二十五日午後發

馬関

廣島

陸奥外務大臣

徳大寺侍従長

李鴻章負傷治療セシ報知アレドモ委ニキ
一カラズ疵ハ深キカ彈ハ接キ取レシヤ治癒ノ結
果如何ナヤ
聖上御尋ナリ直ク答ヘテ清ク



810791

平八事三月二十五日發

廣島

徳大寺侍從長

百閑

陸奥の務大臣

李鴻章ノ病方、眼ノ下ニテ銃丸ハ深サ一寸ノ所ニテ
骨ニ穿リ居リテ血モ多カラズ眼ハ傷カズ熱ナ
シ精神モ衰リナシ痛ミナシ睡モアリ石黒佐藤トモ
生合ニハ障リナシト云フ

陛下ヨリ西軍医ツテ差遣ハサレモトツ難有ナシ治
療アリ兩人ニ托シテ石黒ハ明日歸リテ参ル中
上ルヘシ

右御上差ヲ乞フ

本堂へ管轄外
本堂へ管轄外
本堂へ管轄外
本堂へ管轄外
本堂へ管轄外

三十八年三月三日

廣島大本堂

川上中將

馬関

石黒
佐藤軍医総監

傷ヲ見タ案ヅルニ及バヌ
皇后陛下より着護

婦ニ名遣ハサレタシ
明日帰ル

暗號

810792

明治 年 月 日
同 年 月 日
日 起 草
日 發 遣

土 任

電送第二〇二號
明治六年三月五日
午後三時發

馬 関

佐藤外務書記官 林外務次官

外務大臣へ

李鴻章負傷ノトニ就テハ「ブリタニク」ハウ

スヨリ既ニ海外へ電報セシ由ニ付更ニ同人等

外 務 省

ラシテ「タイムズ」ト「アソシエーテッド」プレスニ左ノ

意ヲ電報セシメタリ

日本人一般ニ兇行者ニ對シ憤懣セリ日本ノ

新聞紙ハ悉ク深ク「レダレツ」トノ意ヲ表セリ

810793

外務

二十六年三月三十日發

東京

馬關

芳川司法大臣

陸奥外務大臣

昨日伊藤総理大臣より電信ヲ以テ御相談
ニ及ヒ先當地ニ於テ裁判所ヲ開キ下ハ出来ルヤ
否至急本大臣迄一報アリタシ

2-0064

0194

外務省

二十八年三月二十五日午後三時三十分發

馬関

東京

陸軍外務大臣

井上川司法大臣

御問合件、對シテハ今朝十時總理大臣處

迄電セリ

次官
政務長

810794

省 務 外

至急
暗號

各大臣外西ヶ原より、馬場

電受第三四七號（明治二十八年三月五日午後四時七分着）

我 天皇陛下より佐藤石黒西軍醫ヲ
差遣ハサシ診察セシ處ニ依ル李氏ノ負傷
ハ即今危殆ト云フ程ニ非ズ餘症ハ伊藤
ニ非ラザレバ性命安全ナルベシ伊藤
唯今廣島ニ行キ廣吉モ同行セリ三四日中
ニ再此處ニ歸ヘン旨ナリ此電信ハ軍田伯
名大長ニ送由知アルベシ又西ヶ原ナガラ西
ヶ原ノ留守宅ニモ送由知アリタシ

馬場

陸軍大臣

林 有友

外務省

二十八年三月二十五日午後四時至翌

馬関

外務大臣秘書官

館島廣島縣知事

清國使節が来漢、わが不慮、災に罹り、員傷
セラレタ由、當に入リ、速カニ平癒、アラセテ、診察ム
若シカラスバ、先方、御傳ヘシ、請フ

810735

壬午年三月二十五日午後

馬関

陸軍外務大臣

長官新設社長

三ヨノタケヲミ

李氏ノ負傷ヲ痛ミ快念ヲ祈ル伏テ謝取次
シ侍々

2-0 0 6 4

0:00

外 奇

壬午年三月二十五日午後

馬関

陸奥省事務大員

兵庫縣河東郡

人良徳代河合ハシカイ

清國使節李鴻章伯ノ買傷ヲ痛ム此告仗
前ハ傳達ツモフ

2-0064

0:00

14

暗號

810796

明治 年 月 日
起草
口發遣

主任

第三四八號
明治六年三月五日
外務省

馬系

佐藤外務大臣官

林外務次官

外務大臣へ

今朝電報せし物迄は使来詰事有

タイムス及びデバール、西調へん、主顧未

外務省

左通、香田、郎使

モロッコ、西班牙、貿易、未償金支拂

延期請求、為、西班牙、必、大使、誤、

此、謁見、為、王宮、至、途次、西班牙、

官、フェニクス、者、之、毆打、右、西班牙、

必、改、理、外務、西、大臣、直、右、大使、對、

謝、辞、述、其、同、公、攝、政、陛下、より、同、様

謝、辞、アリ、又、外務、大臣、モロッコ、政府、

死す直ちに電報ヲ發し其親友及人
民及び政府に其事件ニ對し「リグレット」ヲ述ハサル
旨ヲ通達セリ又モ犯罪者ナル將官ハ軍
法庭ニ付セラルタリ

外務省

810798

暗号

明治 年 月 日
同 年 月 日
日 起 申
日 發 清

主任

電送第百九號
明治六年二月廿
午時十發

馬英
佐藤外務書記官
外務大臣ハ
外務次官

スクリバー
スクリバー
ナキ由ニテ
内務大臣ヨリ
協議アリ
依テ事件
外務省

費核密令ノ内ヨリ
三内田ヲ支出シ
置ケリ
御聞置ラ乞フ

2-0064

0202

810793

外務省

二十八年三月二十五日午後五時五分發

馬関

陸軍省外務大臣

貴族院議員一統

清國領事全權欽差大臣李鴻章伯遭難

報に接し驚愕を極め其の故を伯の容体

訪問し併せて速に平急アラウラ祈ル旨回信

通り傳フ

2-0 0 6 4

0203

甲 年三月二十五日 受

810800

政務局

第二受

警言保局長

中井先

群馬縣警言部長

三月二十五日 午後三時十五分 齊

孝八郎長男ふ山豊太郎六之助改名願出シコトアルモ
印屈ケフレズ父ハ其放蕩ヲ憂ヒ慶應義塾ニ入
學セシメシモ業成ラズシテ退キ今ハ自由党壯士ノ
群ニアリト録ハ後ト

平八 三月二十五日辰時二分受

馬関

陸奥の事務大臣

千家崎主縣知事

使前加害者小山六之助が若し群馬縣邑樂郡大島村ノ
者ナラバ同村ニ六之助ナキ者ナキ由ナハ同村ニ番地平民無
駿小山豊夫氏満年六歳ニトナバ同人ナハ身大五尺
一寸五分眼大耳小口大歯揃ヒ鼻高リ頤出ラ有髪
薄リ頭ハ刀疵ト打疵トアリ未婚ニ母ナリ父孝太郎
弟岩治ト弟之進ト妹リイアリ昨二十七年八月初メ

本縣有馬郡太田村折原貞造ノ代理トテヒ本野庄
吉進留壯士館優渾作太良ノ華島人松本慶造
宮陣組人ト曰郡役所村高橋久兵衛事リ全談未
果行ニ黒島殿換置三月六日逮捕入監浦和裁
出豫審ニ迎ケルモ同年九月二十日免訴セラレタリ
了其旨ハ事案流馬道所ニ番地松井小平方
案留ニ自由義團壯士ナリト由在監中ノ通信往
復ハ東京小石川下富坂所ニ番地松村貞治氏方中村

810802

孝親町区名東町三丁目二番地吉澤義一郎日本
橋馬家町西口芳太郎海草馬道町四口孝三郎群
馬家名東町六御村四中紋治町旧村田口孫六郎
跡八搜索中

2-0064

0206

平八郎青手参上

唐島

陸奥五作官

下関

陸奥お務大臣

伊藤伯へ

林次郎より主東京各國各役ノ意見分た通中概ニ

相違は役只今申す者曰ク休戦をテ日本ヲ要求ノ

條ハ北京より電報ニ悉ク示さる然レテ言フ

丁故ハ又本意昭章ノ一ハ政略色ニ甚タ悪感情

ヲ起ス終々之下似案リ例ヲ考元ニ数月お司ロ

外務省

此ノ講和役前が司トリ正ニ申す王宮より贈り馬

車ニ乗ラ下ル片吸煙人ニ非確時申す力不意

ニ参ッ拳々を供部ノ面部ヲ打ナリ四々教徒ニ對シテ

ハ此上ニ無礼ナ故西班牙政府ハ司馬ニ謝罪供部

ヲ送り是和睦ノ要求條件ヲ大ニ定カハスルハ已ムコトヲ

得ヤト至スル(右ノ先例ハコトハ新ウ紙ヲ搜索改

シ見出シ此方郵送スル)

英ニ供部参知事申す此後ノ事件ハ甚ダ歎ハシキ

況や欧州の感情ハ甚ダ悪シヤムベシト云フノ言ナシ
 中國の役事者曰ク欧米の感情甚ダ悪シヤラシ李鴻
 章ハ日清政府ノ保護ノ下ニ於テ其ノ特權ノ地ニ送ラレタ
 ルハ常ニシテ其ノ保護地ニテ談出リ繼續スル缺ハガ
 如信ノ陷リタルモノナバ更ニ談出リ得ル手續ノ事
 也談出リ中止ミ日本政府ハ彼ノ所ニ在リ休戦ス
 ルおもふべシ
 佛公使ハ其諾受ツ送リテ事實ヲ問合セタノミナリ
 露公使ハ東京ニ在ラス故ニ未ダ未ダ答セズ

暗號 810805

官印

政務局

通商局

外務省

電受第三五一號

(明治二十八年三月五日午後六時十五分着)

外務大臣ヨリ

李鴻章負傷見舞件、差支たし但し
電報事、就テハ田通信局長へ訓令
致し置キタルヨリ同官(市相談アリタシ

馬関

佐藤書記官

林外務次官

2-0064

0209

平八 三月二十五日 辰

東京

田浦信局長

馬関

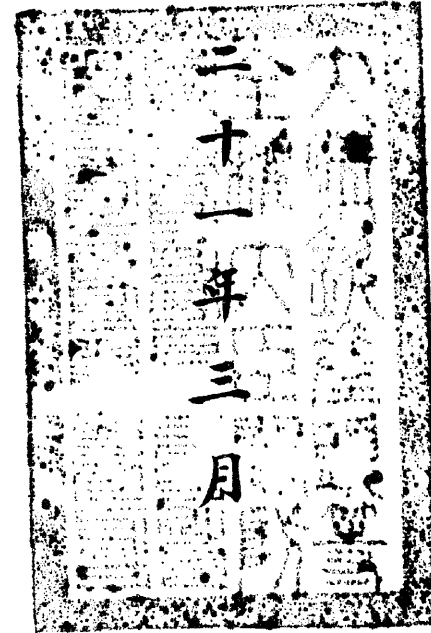
伊東書記局長

人氏より本鴻幸へ具舞ノ電信ハ其ノ信地ニ於
テ檢定ノ上ニ都合ナキモノハ勿論信ヲ許サルコト且又電
信ハ當地ニ於テ再ビ檢定ヲ經ル上ニ取達スル

台祺

810807

光緒



初一

日

大清帝國欽差頭等全權大臣太子太傅文華殿大學士二等肅毅伯直隸總督部堂李鴻章

2-0064

大日本帝國

三月廿二日彼方ノ再回答

大皇帝欽差全權辦理大臣閣下。接到

貴大臣昨日來函。以本大臣邁可悼之事。不能躬親會議。故有二十八日之函。深抱歉忱。並陳擬即遵照本大臣前函辦理之事。難免略有延擱等因。均經領悉。昨承

貴大臣駕臨館舍。見詢起居。並以本大臣負傷之故。至為惋惜。本大臣實深銘感。旋奉

貴國

大皇帝存問有加。

大皇后慈慮稠疊。頒賜御製裹傷物件。又承

敕派御醫。前來診視。本大臣不禁感戴之至。所恃御醫技術精良。

貴大臣僚誼周摯。俾本大臣得以早占勿藥。體氣復原。再行

陳謝

貴國

大皇帝

大皇后存問扶拯之盛意。至

來函內開

貴大臣允諾見示之和議條款。暫有延緩情形。洵屬甚是。本大臣自應靜候。此事於本國關係甚大。本大臣曷勝厪念。手此奉謝。並頌

810813

電受第

號

Mutsu

Shimonoseki

69. If report of attempt
on the life of 李鴻章 is true
I recommend full satisfaction
be given immediately whol
Europe indignant at this bar-
barous outrage look with disdain
our superficial civilization.

Roki

Berlin Mar. 25 '98 12-25 pm

Recd " 26 " 7-110 am

810812

外務省

壬午年三月二十六日付の書

馬関

外務大臣秘書官

福井縣教諭所長 五郎氏

磯 五郎助

謹ラ申上ル唯今新聞等におきより敵國は其
遭難ノ事ヲ承知ス本件は閣下ノ憂慮不肖
五郎西ノ恐察仕處ニ於テ誠意ヲ以テ謹ク
見舞申上ル謹言
右ハ執達シタス

2-0064

0214

Translation.

810898

Their Excellencies

*The Plenipotentiaries of
His Majesty the Emperor of Japan.*

Excellencies:

I have the honor to acknowledge the receipt of Your Excellencies' note of Yesterday's date, in which you tender the expression of your deep regret at the lamentable event which made necessary my note of Yesterday, and explain the circumstances which require some little delay in complying with the request contained therein.

I was greatly touched by the personal visit of Your Excellencies to my lodgings to inquire as to my condition, and by the earnest expression of your deep regret at the act from which I am

三十一日、其、使、再、四、日、英、譯

2-0064

0215

810809

now suffering.

I desire also to make profound acknowledgment of the sympathy manifested by His Majesty Your August Sovereign; of the tender thoughtfulness, of Her Majesty the Empress in hastening to send articles prepared by Her Majesty's own hand to assuage my wound, and for the despatch to my relief of His Majesty's physicians.

I have great hopes that, through their skill and the other measures dictated by Your Excellencies for my comfort, I shall soon be relieved from pain, and be able with restored health to make a more formal recognition of my great appreciation of Their Majesties' sympathy and succor.

The explanation which Your Excellencies give for the brief delay in delivering to me the promised conditions of peace is entirely satisfactory; but I shall await

with

with deep interest the receipt of the document which so greatly concerns the welfare of my country.

With heartfelt gratitude, I reassure Your Excellencies of my distinguished Consideration.

Li Hung-chang (L.S.)
Ambassador Plenipotentiary
of His Majesty
The Emperor of China.

Shimonoseki, March 26th 1895.
= Kuang Hsü 21st Year 3rd month 1st day.

810810

2-0064

02 16

51

810811

Muten,

Bakan.

73. You telegraphed me that there is no danger to the life of 李鴻章. Will he submit to operation of 石黒 and 佐藤. What steps would they take in this juncture. would they not return. What steps would you take. What is the idea of Foster and Detring. I am very anxious to hear all about.

Enough

Fusan March 25. 1895

Red " 26. "

電受第 號

2-0 0 6 4

0219

810814

外務省

二十八年三月二十六日午前十一時

馬関

伊藤全權大臣

東京

陸奥全權大臣

樺太陸奥副議長 顧問官 岡田

李欽差大臣ノ相人ノ為メニ負傷セラレタルヲ悲ミ
併セテ速カニ其ノ平愈アラレヲ祈ル

2-0064

0218

810815

暗號

明治
同 年 月 日
起 節
日 發 遣

土 任

明治六年三月三日
第二号
前土時丁發

馬
佐藤外務書記官
林外務次官

外務大臣へ

昨夕官報号外ヲ以テ貴省ニ送ルル事
ハ件ニ係ルハ留地ニテ及ルニ海外公
外務省

館へ電報スベキヤ

2-0064

0219

810816

外務省

二十一年三月二十六日午後一時十分發

廣島

陸奥大臣

馬關

陸奥大臣

左、通、年、藤、伯、信、

本、大、臣、の、お、な、ま、電、信、行、達、ヒ、唯、今、在、

招、青、木、の、使、り、左、要、留、り、

若、し、本、子、の、事、ヲ、担、當、せ、し、ま、報、を、事、實、ナ、ル、中、ハ、

即、時、に、之、を、知、る、満、足、シ、其、一、つ、に、一、希、望、を、堪、へ、

不、何、ト、ハ、政、府、は、一、般、の、感、情、に、斯、く、野、蠻、的、暴、行、

行、シ、見、テ、日、本、の、開、化、に、到底、皮、相、的、な、モ、ト、評、定、

ニ、至、ル、必、然、ナ、リ、

2-0064

0220

平八 年三月二十六日 后發

廣島

三國

徳方寺侍從長

陸奥府務大臣

唯今李鴻章より公文に接し多し其内

西陛下より御慰問の賜あり又 皇后陛下よりハ

綏帶等々賜物ヲ受ケ其且ツ慰問の旨シ御達し

下サレテ實ニ感激ノ至ニ堪ヘズ情々所ハ醫局安

ノ技術精良ナレバ之ニカクズシテ快復ニ至ルベク其

上ニテ尚ホ更ニ 西陛下ノ御厚意ニ陳謝スベ

トアリ以上何レ本々書面ニテ奏上スベケレハ

取敢つて電候ニテ申上リ宜要御執差スッ

乞フ

810817

外務省

壬午年三月二十六日辰一時五十分發

馬關

外務大臣秘書長及 廣島市長付渡健

左通り李鴻章の請け渡し

廣島市民の請け渡し、議員の請け渡し、
（不承知請見無事）

2-0064

0222

810818

暗號

16

（本館蔵）

明治 年 月 日
同 年 月 日
日 起 草
日 發 遣

主任

明治三十二年三月五日
午後一時三十分發

馬場

佐藤外務書記官

外務次官

外務大臣へ

今朝夜に使者來省曰く是より支那の各
政府へ渡すの書類に多し之を之に
外務省

由ナキ故各公政府に相傳へて
多し此度ノ事件ニテ支那ハ十分ニ
スルノ理由ヲ得タリト

103

X 4

電受第

號

Mutsu
Shimonoseki
I think it is wise to send some appropriate words of condolence to Chinese Government through United States Minister; if you approve send an official note to that effect.
Ito
Hiroshima Mar. 26 '95 1-15 pm
Recd " " " 1-59 "

103
X 4
電受第
號

2-0 0 6 4

0224

Viscount Murata,

Shimonoseki.

Imperial Rescript issued
last night. Its English translation
herewith for information.

China is now in a state
of war with our country but
as she has sent us in due
observance of etiquette and
forms an Ambassador for the
conclusion of peace we have
named our Plenipotentiaries and
instructed them to meet and
negotiate with him at Shimonoseki
if being thus incumbent upon
us in pursuance of international
usage to extend to the Chinese
Ambassador a treatment consistent
with the national honour and
accord him sufficient respect
and protection. We issued

電受第

號

2.

810820

particular orders to our functionaries
to do their utmost in these respects.

It is therefore matter for our most
profound grief and regret that
there should have been a ruffian
base enough to inflict any
personal injury upon the
Chinese Ambassador. As to the
culprit he shall be sentenced by
our official to the severest punish-
ment provided by law. We hereby
order our officials and subjects
to pay respect to our wishes and
preserve the glory of the country
from degradation by strictly
providing against the recurrence
of such deeds of violence and
lawlessness.

Mitsujiri Ito.

Hiroshima Mar. 26. 1895
R. I.

電受第

號

2-0064

0225



810819

Mutsu Nonyakukan,

Hiroshima.

伊藤伯へ。 I agree with you
about appropriate expression of
sympathy to Chinese Government
But under existing circumstances
it is not so much the words
but the deeds that have desirable
effect. So pending the receipt
of your telegram on result of
today's conference I shall wait
to write official note to 貴国
本日は because that result
must govern more or less tenor
of the note. Decision agrees
with me entirely.

Mutsu

Shimonoseki Mar. 26. 1895

電送第
號

2-0064

0226

暗號

電送第二五三

廿年三月廿一日
後二時○發

馬關

佐藤外務書記官 林外務次官

外務大臣、

スクリバー助手一人ヲ從へ今朝之時ノ

漢事三出也

外務省

明治二十一年四月廿四日
同 年 月 日
起 草 發 清

土
任

省 務 外

壬午年三月二十日辰二時三十分

了 関

陸奥外務大臣

廣島

伊東書記官長

李鴻章ノ密使の國ニ通報スル必要アリ御取
調ノ上詳細ノ御報告待リ
詔勅ノ原文ハ見玉座ノ手ニ存リ市入用アズ御
取寄セアリタシ

2-0064

0228

外 國 人

三十八年二月二十六日 辰二時三十分

馬笑

陸奧の務大臣

長安老貿易商總代

松車武助

謹テ使節李伯達難ヲ慰回ス右御信事

シ
乞
フ

至急
暗號

外務省



同日午後電報

電受第三五九號
明治二十八年三月廿六日午後三時三十分發

李鴻章曹難ノ件ニ關スル詔勅ハ
本年越ノ通シ取計ヒアリテ然ルベ

馬軍

陸軍大臣

林次官

2-0064

0230

810823

省 務 外

三十八年三月二十六日辰三時五分

廣島

陸奥五縣友

吉田

陸奥の務大臣

左、通り、保藤、付、付、付

今日午後一時、此地より出帆、重山船ニ
其地ニ降り、保藤、陸奥、大佐、托、托、杜、者、
書面より、今日、議決、定、以、安、此、大、臣、
秘密、一、讀、了、と、し、付、付、

2-0064

0231

二十八年三月二十六日辰時三十分發

相密院東久世伯 各通

三関

陸奥外務大臣

清國頭等全權大臣李鴻章曹錕貝勒

関元貴電軍達同式へ持達ニス。深ク厚ク意

ヲ謝ス。本大臣より関ニ占申達其ノ様依頼

西各々接中

810824

二十六年三月二十日午後四時三十分

兵庫県加東郡河合ハシカイ
人氏館代

新島茂島あお車

長崎新報社長城野タチミ

彦毛山市長付済健

中田新太郎殿

本館通難所見舞、電報ハ直チ傳達取
計日置キナリ

2-0064

0233

外務省

二十六年三月二十六日辰四時五十分發

支那

外務大臣

駐日英大使館長

秋野万次郎

謹言清國大使李鴻章閣下不慮ノ法遣難
シ決具舞ス連々法使館アラセラレニラ新ル

810825

外 務 省

壬午年三月二十日午後四時五十分發

支那

東京

陸軍省の事務大臣 華族全族長東久世通禧
李伯通難く我華族一同痛歎
情堪ぐ速に平癒アラスカ望云右傳達一
し御依頼ス

2-0064

0235

Sent March 26-1895 5 pm.

To Nissi Petersburg (91)
Inouye, Seoul (202) From
Hayashi

The following Imperial Re-
script was issued 三月廿二日:

"China is actually at war
with us; but as she has sent
an Envoy with due forms and
ceremonies to negotiate peace, we
have also appointed our Plen-
ipotentiaries to meet and confer
with him at Shimonoseki.

It being proper that we should,
in accordance with the established
international usage and for the honour
of the State, extend to the Chinese
Envoy suitable treatment and
protection, we have specially enjoined

電送第
二二五
號

114/117

810826

the competent Authorities to neglect
nothing to that end.

We deeply regret that a mis-
creant has unfortunately appeared
who inflicted an injury upon the
Envoy. The offender will of course
be punished by the competent Authorities
according to law without the least
extenuation. We command the
Officials and people to endeavour,
by bearing our will in mind more
strongly and strictly guarding a-
gainst outrages, not to impair the
honour and glory of the nation."

(To Nissi add: "Inform all legations")

電送第
號

2-0064

0236

810827

外務省

大正六年三月二十六日午後五時一分發

馬関

陸軍省外務大臣

廣島

伊東書記官長

本日當地警署より、蘇門答臘日々新報中、本署鴻章
自殺未遂下野、馬関警署、電報トテテ強硬ノ
説ヲ揚ケ此際如此キ記事ハ許スガハザンモ、
テ本署警署トテテ停止ノ處分ヲ為シメタリ

2-0064

0230

二十六年三月二十六日所六時十五分

多の集

外務大臣板垣退助

北海道名護國書知郡

歌 流川村々氏一同

大正五皇帝陛下、御差等々、大正五

年、御差等々、御差等々、御差等々

場、御差等々、御差等々、御差等々

者、御差等々、御差等々、御差等々

外務大臣

810828

壬午年三月廿六日

三美

秘書長秘書長

岐阜縣惠那郡中津川町村銘代

市岡マサカ

兇徒李太臣ヲ傷ケテト痛哀惜ク能ハズ侍妾

フ
エ
フ

2-0 0 6 4

0239

其後何ん様標カ御心配中、度々御催促
スハ御氣ノ毒ナカラ多ク其後ノ模様御内報
ヲ炊ハヒタシ

附 錄

810829

言

廿二日

馬

陸奥

陸奥

陸奥

伊豆

本

本

本

本

本

本

壬午年三月二十七日未時三分

京城

井上公使

丁卯年

陸奥外務大臣

今面々事存決心配程決意申す伊藤総理
一昨より廣島よりヤ多分明日此地に帰る
夫迄何事も決定シタル事不能く本意
病に罹り候方ス佐藤新断に依る生命安
全ナシ 天皇皇后兩陛下、御慰念及
各地人民、慰問ニ接し、本意、頗る好感
情ヲ抱き、所接候者、亦追々申す

三月二十七日 午前十一時三十分
 東京
 野村内務大臣
 陸軍外務大臣
 新任山口縣知事 至急馬関ニ来ル様ニ
 令了スル

810831

天年三十一歳
彦島大本營
川上中將
陸奥外務大臣
李鴻章、病癒、追々快方、赴く、日人、深う
佐藤軍醫、の総監、竹田、居る、日軍、送
能監、三浦、今、勅、出、留、地、滞、在、せん
「必要、有、故、其、を、續、充、分、主、行、る、大、相
当、御、處、置、ア、ラ、ウ、ラ、ス、

2-0064

0244

外務省

平年三月二十日付外務省外務省

三ノ罪

陸軍省の務大臣

京極

井上公使

其後、横柄の字、忍念に堪ふべき事、
空体并に我國の法に治務に於ても否や、
庸々シ併せり、
所

2-0064

0245

810832

外 務 省

三十八年三月二十七日午後六時三十分著

多田

陸軍省加務大員

蜂谷少将中務院議長

李弼世氏同方々秘書及松浦伯明日其地ニ至ッ

2-0064

0246

省 務 外

三十八年三月二十七日 府 政 務 司 殿

三十八年

府 政 務 司

陸 軍 省 務 大 臣

川 上 才 治

貴 族 院 如 右 依 藤 經 武 公 尚 其 地 留
其 治 藤 公 長 子 藤 公 長 子 藤 公 長 子

810833

外 務 省

天保三年三月二十七日 辰時 五十分 抄

多聞

陸奥加勢大臣

仙台市基新各派信徒六百十七人
總代仙台市南町通三十八番地

三浦宗三郎

李全權遭難ノ痛ム

2-0064

0248

省 外

平六年三月辛酉辰四時一分歿

子関

陸奥外務大臣

千葉縣安房郡佐山所豐津村組長

木村 三之助

李伯曹難う痛

2-0064

0249

810834

省 務 外

辛未年三月二十七日付の三五号

多聞

陸奥

陸奥省長

伊東玄以爲長

山口縣知事原保太郎本官シ免ズ

島根縣知事大浦兼武山口縣知事ニ任ス

山口縣知事部長後藤松吉郎本官シ免ズ任記

五上

福岡縣知事部長有田義實山口縣知事部長

ニ任ス

愛媛縣知事部長三上調行福岡縣知事部長

長ニ任ス

香作。宣下アリ比般知事

2-0064

0250

外 務 省

壬午年三月二十七日付の文

馬関

外務大臣に秘書官

岐阜名惠那郡大士村代表者
中津川所外子村代表者
市岡マサカ

本使節の先漢ノ為メ負傷セラレ國家ノ為メ痛
哀ニ堪ハズ宜ニ御慰メテ可ク

810835

平八 三月三日 午前一時五分 發

平八

廣島

中田 秘書長

廣島 秘書長

ドクトル スクリバ (メンティア) 号 三 昨夜九時此地へ
而テ神戶ヲ發シタル由 就テハ小島 廣島 迎ヘ旅費
等ノ用意 頼ム又同ギハ 我政府ヨリ送ラレテ 昨ナリ
ハ 合点申ス 〇 總理モ今日出立セラルトド
モ 天氣悪シヤル 多分 延ルナラン

外

2-0064

0252

2.

S10836

電受第

號

At the same time it warns Japanese
 statesmen to take wholesome lesson
 from the accident so as to keep
 national sentiment in proper
 check as otherwise it may possibly
 lead to * for the blood
 of objectionable foreigners other
 than Chinese which will entail
 unpleasant consequences. Other
 papers speak in similar tone
 exonerating Japan and Japanese
 Government from responsibility.
 very good impression has been
 produced by the report that
 * Government sent kind
 messages of * 李鴻章
 and also by every kindness
 and consideration shown
 towards him by Japanese Govern-
 ment. Your telegram arrived

3.

電受第

號

Monday evening 24 * *
 gave out news; inform me
 * about progress of the wounded
 and also as to whatever bearing
 incident may have upon
 pending negotiations.

在英公使

March 26. 1895

Re'd " 28. "

2-0064

0253

三月十六日接

電受第

號

Mutsu.

Bakan.

At 東京閣. P.B. English paper
 received news of attack upon
 李鴻章 very quietly Times leading
 article 三月十日 exonerates Japan
 from responsibility for the conduct
 irresponsible and apparently
 isolated malefactor and says
 such crime might occur in
 any European capital under
 similar conditions it
 to say Japan is very much to
 be pitied and sympathized
 at this lamentable incident consi-
 dering that she has striven long
 earnestly and successfully to
 earn reputation of a state
 adding that no body will be
 unjust enough to upbraid her
 for the action of young fanatic.

810837

Muteu.

Bakan.

42. Italian Minister for Foreign Affairs impressed me that attempt 李鴻章 need not cause much effect on general progress of negotiations for peace. He proposed me personally as follows: "In case foreign intervention should be inevitable he might try that Italian Government will take necessary measures to prevent it on condition that Japan will give advantages to Italian Government on the territory to be ceded by China by encouraging industrial or commercial development of Italian interest". Italian Minister for Foreign Affairs added that Italy does not intend to take any

電受第

號

2. 810835

territorial responsibility in the East but only desires commercial encouragement. As to the Anglo-Russian rapprochement he does not put much confidence, also he thinks probable change of British Government will be more favorable to Japan's interest in respect to the negotiations for peace as Marquis of Salisbury is more against Russian encroachment.

電受第

號

在任公使

March 27. 1895-

Rit. 38. "

伊

810839

明治二十八年三月二十八日
三月二十八日
三月二十八日

下関

陸奥外務大臣

高平公使

第四二号

伊國外務大臣「李鴻章負傷事件」敢て媾和談判全体ノ進行ニ對し餘り影響ヲ與フルニ及ハサルヘシト告ケタリ而シテ同大臣ハ一已ノ考トシテ左ノ如ク奏談セリ

外務省

ハ伊國政府ヲシテ之ヲ妨リルニ必要ナル措置ヲ執ラシムルコトヲ勉ムルコトモアルベシ但し右ハ日本國ニ於テ清國ノ割譲地ニテ伊國ノ利害ニ關スル工商業ノ發達ヲ獎勵シ以テ伊國政府ヘ便宜ヲ與フルトノ條件ニ施ルモノトス

同大臣又曰ク伊國ハ東洋ニ於テ何等土地ニ關スル責任ヲ執ラレト欲スルノ意アルコトアラズ

して軍ニ通商上ノ獎勵ヲ望ムモノナリト
 英露兩國ノ結託ニ付テハ同大臣ハ餘リ信用ヲ
 置カズ又同大臣ノ考ミテハ多分英國政府更迭
 アルヘシ果シテ然レハ右ハ媾和談判上日本國
 ノ為メニ利ヌルトコロ一層大ナルヘシ何トナ
 レハソノズベリト候ハ露國ノ侵畧ニ及對スル
 コト一層甚シケレバナリト

外務省

810841

Mutsu

Bakau

The paper of Count Katsuky organ has no comment upon the attempt up to the present official newspaper states that the attempt shall not have great consequence upon the negotiations for peace. "New Free Presse" says sympathy Japan acquired has been shaken by the deplorable attempt against 李鴻章. Japan has lost a battle morally in respect of humanity. Japan is not yet truly civilized nation. Japanese do not know inviolability of hospitality as it is proved by the attempts against Russian crown Prince & 李鴻章.

在澳臨時代理公使

March 27 95. 2.24 pm.

Recd. " 28 " 12-5

2-0064

外務省

810842

二十六年三月二十日午後一時至二時

多田

兵庫縣多田郡日野村長

外務大臣

竹世倉源一郎

李鴻章遭難慰問使付々清

2-0064

0259

辛巳年三月十五日在府署公堂

馬関

宣撫使議定後

時より外務大臣

議長若原

清國全權大臣李伯達難、相、接、し、る

愕、然、と、す、茲、に、日、伯、空、休、シ、訪、問、し、併、ニ、連

ニ、平、愈、ア、リ、ソ、ウ、祈、ハ、方、日、伯、傳、達、シ、清、リ

外務省

Mutou

Bakun. Japan

News of attempted assassination do not
appear to affect general sentiment against us
but have been received with great regret.

Kurino.

Washington Mar. 27 '95 7-25 p.

Reed " 28 " 3-25 "

2-0064

0261

810843

Mutan

Balkan

在伊公使 43 Italian newspapers so far
apparently indifferent about the attempt on
李鴻章. As to the sympathetic statements in
our favor which appeared in London newspapers I
will not repeat what 在英公使 may have reported.

Nissi.

Ret March 27. 1895

9.30 P.M.

Recd. " 28 "

5.45 P.M.

2-0064

0262

Mutan

Bakan

News of the attempt against 李鴻章
do not give rise to too bad impression and
so far it does not appear the news offended
sympathy of the French public.

Sine.

Paris Mardi 27 1895 2 3 p.m.

Wed " 28 " 5.59 "

2-0064

0269

810844

Mutsu

Bakau

19. General impression here about the recent event almost threatening our credit in connection with the event so far chief papers are keeping back themselves from making any comment upon it as if showing some sympathy towards our misfortune except one of them slightly saying that Japan has shown dark side under the garb of enlightenment but I am sure the event will not affect the attitude hitherto taken by Russian Government. They are afraid, continuation of peace negotiation would be impeded and especially by further advance of the war; Our conditions for peace would be increased to degree not acceptable for China resulting therefore great complication in the matter by eventual intervention of other powers; this I consider too most serious. Inform therefore whether you will be able to carry on present negotiations hereafter without much hindrance to their progress.

Petersburg Aug. 27 1895
Recd " 28 "

Nishi.
9.10 P.M.
12

2-0064

810845

外 務 省

辛巳年三月十九日安南の事

東京

林外務大臣

多聞

陸軍省外務大臣

李鴻章の死に關する事、案に依りて各官に及ぼす
任國ノ感情ヲ損失セシメタル事、又ハ新
任ノ官ハ何レモ格別ニ惡シキナシ右電係ノ官
邦送るべしと云ふ事、此より後、置かるべし

2-0064

0265

外 務 省

壬午年三月二十九日

東京

林外務次官

馬関

陸軍外務大臣

李鴻章遭難事件の事と甘五のメールと載
とえ社説に甚々宜しからん中より方々から
クリーノ意見見ても否といふ事と宜し
置かれたい

810846

省 務 外

平八 年三月十九日

馬 塚

台 地 裁 裁 所

陸 奥 加 務 大 臣

野 崎 檢 事 長

小 山 豊 美 郎 公 署 八 明 日 開 廷 ノ 旨

4

2-0 0 6 4

0267

寄る

外 務 省

壬午三月三十日

多聞

宇城

陸軍省外務省

井上公使

總理府より由該省へ陸軍省をシ得る事
局係様へ如何知ラセリ

2-0064

0268

810847

外務省

電受第

號

(明治二十八年三月廿一日午五時五分着)

小山豊太郎氏等無期徒刑之處せらる

判決書ハ郵便

山地方裁判所

野崎権三長

陸奥外務大臣

2-0064

0269

下関三校に取扱し書類

廿九年三月二十日發送所

拜啟陣者兇漢罪人山田豊太郎、唯今山口地方裁
判所にて無期徒刑(即終身徒刑)ニ處セラル旨、同裁判所
野崎控事長より電報ニ接し候旨、不取敢及
は通知候敬具

明治三十九年三月二十日 外務省主事 山田 豊太郎

大清帝國欽差江華全權大臣

一等参事 趙 鴻 章 以下

外務省

810848

下関三岐平坂書

四月廿五日

發信第ニ一三四號

別紙小山豊太郎謀殺未遂事件
判決書謄本及送進候也

明治廿八年三月三十日

山口地方裁判所検事正黒部陳平



外務大臣子爵陸奥宗光殿

山口地方裁判所

2-0064

0271

810849

判決書

群馬縣邑栗那大島村大島
手氏無謝書

小山豊太郎

明治三十四年三月生

右豊太郎ニ對スル謀殺未遂被告事件豫審
終結決定、因リ公訴ヲ受テ審理ヲ遂クルニ
被告豊太郎我帝國ノ清國ト學業ヲ干ヤリ
構スルに至リタルハ清國現任李欽差頭等全權
大臣鴻章ノ特ニ稱胎ヲ養ヒタルニ謂由スルヲ
以テ其生命ヲ絶ワニ非レハ永ク東亞ノ平和ヲ

山口地方裁判所

保リ難シト思惟シ、清國國命ヲ帶有シ我
帝國ニ來リ山口縣赤松町市ニ於テ和ヲ議セトスル
ヲ旨キ茲ニ之ヲ擊墮セント、意ヲ決シ明治三十四年
三月十一日神奈川県横浜濱市金丸鐵次郎方ニ
於テ五連發短銃ヲ發シ、彈丸ヲ買収シ今日
二月東京ヲ發シ陸行ニテ三月廿四日右赤松
町市ニ至リ機ヲ破ヒ居リタルニ及リ午六時四
十分頃該大臣ノ驕ニ坐シテ市外濱所路上ヲ
通過スルニ值ヒ驕前ヨリ彈丸五個ヲ裝置
シタル前記ノ短銃ヲ放テ其胸部ヲ狙撃シ、
タルニ左眼爲下線中矢ヲ穿ルニ及リ約一センチ
メートル許リノ傷ヲ中リ彈丸約四センチメー

地裁

地裁

トル許リノ深サニ達スルモ生命ヲ損スルコトニナリ
 以上事實ハ被生カ者公庭ノ自白ヨリ豫審所
 司明書証人實文上等兵何部恒次郎ノ豫審
 明書陸軍ニ奉軍醫正古宇田信正ノ診察証
 書現在ノ短銃並ニ彈丸ノ數ニ証憑十令ナリ
 之ヲ法律ニ照スル被生ノ所爲ハ豫ノ謀ラ人ヲ殺サ
 ニトシ已ニ是事ヲ行フハ罪大惡外ノ年譜ニ因リ
 未タ遂テサレズナリシ刑法第二百九十二條同第
 百十三條ノ適用ニ付十二條ノ所リ同第百十六條
 例ニ照シ死刑ニ一審ヲ裁シ豫期付刑ニ處シ
 犯罪ノ用ニ供シタル短銃彈丸四個裝置ノ儘同
 第四百三十三條第ニ則リ之ヲ没收シ其他押収ノ係
 ル物件ハ刑書所法は第二百二條ノ則リ之ヲ被
 生ノ累付スルモノトス

右ノ理由ナリテ判決スルコト左ノ如シ
 被生小山豊太郎ヲ豫期付刑ニ處ス
 短銃一個ノ彈丸四個裝置ノ儘之ヲ没收ス
 没収ノ係ラサテ押収ノ物件ハ總ラ之ヲ被生ノ累
 付ス

明治廿八年三月三十日山ノ地方裁判所公庭ニ於テ檢
 事部長廣平三司第ニ審問ノ判決言渡ス

山ノ地方裁判所判事部
 長判事部長 鶴岡琢郎

810551

判事安藤彦生

山口地方裁判所

右原市川保根

山口地方裁判所

昭和二十二年三月

三

山口地方裁判所

山口地方裁判所

光漢小山豊太郎 本日無期
 徒刑ニ處スル判決アリタル旨
 黒部検事正ヨリ電報有之
 候条此段及所通知候也
 明治廿八年三月三日
 山地方裁判所赤間開支部
 検事 原田弥美
 外務大臣秘書官中田敬義殿

山地方裁判所赤間開支部

810852

Copies

Petersburg, March, 30-1895-I-10. p.m. N. 189.

Recd , 31. 9-50. a.m.

From

Mutsu,

Tekio.

花岡 公雄

NO. 19. The public is quite independent
about the attempt at .

2-0064

0276

810853

官
辛卯一ノ月四日

鳥居

唐島

清見公家

法光寺住持長

古

又見取、人情多、臨幸、厚儀あり

と云、所判をナシ

永徳寺住持長

外
司
官

2-0064

0277

外務省

壬午三月五日未時五十分

馬関

福井外南條郡長

陸奥外務大臣

遠藤政敏

清國歌等全権欽差大臣李鴻章伯遭難ノ
報ニ接シ知馬関ノ至リニ堪ズル事ニ南條郡會ノ議
決ニテ同日伯ノ穴休ヲ訪問ニ併セテ速カニ平癒アル
ヲ祈ル旨日伯ハ電報ヲ願フ

810854

外務省

平八千三月三日午後二時五十分

三國

時より外務省

廣島市本堂

給天古侍従長

本氏遺一難存各國を供り関る申出

美ハ無之ヤ

聖上御尋存重き要答多清

2-0 0 6 4

0279

外務省

平年三月三十日付四六五番

三ノ関

陸軍外務大臣

兵庫縣河東郡婦人オウコ
會長 アハフエルコ

李鴻章の遺骸ヲ瘞ム以テ其ノ由ヲ告グ

ル

外 務 省

810355

千九百一十三年三月三十日

馬関

陸軍省外務省

東京府都立第一中学校
ネトサンリヨウ神社 宮司

清國は臣民を傷め、
痛恨の情を堪へず、
連年金アタリヲ新ルル者あり、
是等事情あり

2-0064

0201

至急

810856

暗號

電受第三九〇號

明治廿八年四月一日午前

四時五分

在独青木公使ヨリ左ノ通り電報アリタリ

李鴻章負傷ノ罪犯ニツイテハ当國人ハ多ク我政府

が同情ニ其ノ責ニ任スヘキトナセリ其故ハ我政府ニテ

兼々壯士輩ニ對シ取締ヲ怠リタルガタメナリト云フ

ニアリ又当國人ミシテ日本ノ事情ニ通スル者ハ壯士ナル者

ハ狂人ニアラズシテ無政府主義ノ者ナリト云言シタリ

然レモ此度ノ休戦ニ関シテハ本官ノ知ル所ノ其助ノ人々ハ

此寛大ニ處置ヲ見テ十分ノ満足ヲ感じタリ

左ノ事ハ内容ナル所ヨリ聞ク所ニヨレバ露國艦隊ハ何

処カニ於テ石炭ヲ貯蓄スル港ヲ得ルニ非ザバ空シク

帰ラザルベシ夫レ故ニ露公使ニ於テハ取別ケ朝鮮ノ独

立問題ニ重キヲ置ケリト云フ又露國ト清國トハ既

ニ何カ秘密ノ約束ヲナシタリシハ非ラズヤト疑ヒ

ラルモノ多シ

下関

陸奥外務大臣

林次官

廣島

佐々木少佐

山崎

山崎少佐

山崎少佐

寫

810857

Fusan april 4 '95 11-32 a.m.

Rec'd 4 1-40 p.m.

Mutsu ,

Bakan.

174.

Inform me of the progress of the wounded of

李鴻章

Inouye.

464431

2-0 0 6 4

0283

810858

官

李鴻章

二十四日

之

陸軍大臣

李

鴻章

李鴻章

外務省

2-0064

0284

先叙馬関。七張紙。帝國大學
庶務課よりバ氏并助教本原君
七郎より別紙復命書あり也
其後宮及近所也
昭和六年四月廿二日

西園寺文相大臣

林外郎官殿

文部省

李鴻章伯銃創ノ經過及び治療ニ關スル報告

ドクトル ユリウス、スクリバ

醫學士 木原岩太郎

生等ハ文部大臣西園寺閣下ノ命ニヨリ李伯ノ銃傷ヲ診察セシガ爲メ三月廿六日午前六時新橋ヲ發シ馬関ニ向テ出立セリ汽車ノ進行意外ニ遅シ廿七時間ヲ經テ神戸ニ着セリ時日ヲ浪費セザラシガ爲メ神戸ヨリ汽船ノニムイル號ニ乗リ強風ニモ拘ラズ二十九日朝八時馬関ニ着シ直ニ水上警察ノ小蒸汽船ニテ上陸セシモ本朝己ニ佐藤博士李伯ノ繃帶ヲ交換セシ后

文 部 省

ナリシヲ以テ生等ハ李伯ノ訪問ヲ午後ニ譲リ李伯負傷當時ノ状況ニ付キ精細ナル事實ヲ確メシガ爲メニ先ツ陸奥外務大臣閣下及ヒ他ノ諸氏ヲ訪問セリ今回ノ事變ハ二十四日夕五時頃李伯談判所ヨリ帰途街道ニ於テ起リタルモノニシテ伯ハ兇行者ノ爲メニ其面部ヲ銃撃セラレタリト云フ當時李伯ハ轎ニ乗り座位ヲ取レリ街道ノ幅ハ凡ソ三間ニシテ其兩側ニハ無數ノ巡查並列警戒セリ兇行所ノ右ニハ憲兵屯所アリ左ニハ巡查派出所アリテ兩者ノ距離ハ四間ヲ出デス加害者ハ憲兵屯所ノ側ニ立テ轎ノ来ルヲ見テ急

ニ二歩前進シ左手ヲ以テ擔轎者中ノ一人ノ肩ヲ摑
ミ帶間ヨリ「ピストル」ヲ取出シ最短ノ距離ニ於テ狙撃
發砲セシモノニシテ距離ハ必ス一間ヨリ短カハリシナルベ
シ彈丸ハ伯ノ右側ヨリ來テ甚左側ノ眼鏡ヲ貫通シ
左眼下頬部ニ的中セリ此ノ際甚タシキ出血アリタルナ
ルベシ創口ヲ洗滌セル際血液及ビ洗滌液鼻孔ヨリ
流出セリト云フ此ノ日李伯ノ侍醫ハ救急繃帶ヲ施シ
翌日軍醫總監佐藤及ヒ石黒ノ両氏更ニ防腐繃帶
ヲ施セリ兩氏診察ノ際「ハイモール氏實」ヨリ光澤ナ
キ小鉛片ヲ出セシト雖モ彈丸ノ所在ハ更ニ確知スル

文部省

ヲ得ザリシト云フ兎行者ノ用ヒタル武器ハ説者ノ
言ニヨシハ「五木村加製袖珍」ピストルナルベシ而シテ佐
藤博士ノ生等ニ示セル「パトロシ」ハユニランメタリックカ
トリ金會社製ノ口径二十二ヲ有スル「リム」ファイヤナリ
シ

夕刻佐藤總監繃帶交換ヲ行ヘル際生等之ヲ奉觀
セリ生等ノ所見左ノ如シ

左眼窩下縁ノ中央ニ於テ其下縁ヨリ凡ソ一仙迷
ヲ隔テ横徑丸ノ四乃至六密迷ノ圓形ナル創孔アリ
リテ「ハイモール氏實」通スルヲ見ル其創縁ハ佳良乾

燥シタル内芽ヲ以テ露ハル彈丸ノ射出孔ハ存在
セズ頬部及ニ眼瞼多少腫脹シ為ニ左眼ハ全然開
クヲ得ズ結膜ハ其下部ニ於テ充血シ殊ニ眼球部
ニ於テ小溢血點散在セルヲ見ル角膜潤濁セズ虹彩
ニ刺激応状ナク視力モ亦完全ナリ負傷后二三ノ
硝子碎片ヲ結膜ヨリ摘出セリト云フ此日生等ハ消息
子探檢ヲ行ハズ之レ長ク會話セシ為ノニ患者ハ
疲労シ居リ且ツ其創傷モ亦化膿セズ防腐的佳良
ノ經過ヲ呈セシヲ以テナリ患者ノ左側顔面神経ニ輕
度ノ麻痺アリト雖モ是レ已ニ四年來ノ宿病ニシ

交 部 省

テ此般ノ創傷トハ甚モ関係スル所ナシ僅ニ輕度
ノ疲労及ヒ不眠ヲ覺ユルノミニシテ更ニ疼痛ヲ訴
ヘズ繃帶交換后咳嗽ノ際咯痰ニ二三血線ヲ混セ
リ其血液ハ素ヨリ「ハイモール」氏實ヨリ出シ者ナル
コト疑ナシ

三十日午前九時全身診察ヲ行ヘリ動脈ハ輕度ノ「ア
テロ」山變性ヲ呈スト雖モ心臟ニ變化ナク肺臟ニ
輕度ノ氣腫及ヒ加谷見ノ痕跡アリ鼻腔内ニハ著キ
變化ナク左鼻腔下道ノ外側少シク腫脹充血セリ創
傷ハ全ク防腐的ニシテ化膿セズ分泌液モ亦甚少

量ナリ創口ヨリ窺フニ深部ニ於テモ良性肉芽ノ發
生セルヲ見ル脉搏體溫常ノ如クシテ夜間安眠セリ此
日モ亦創傷ノ經過ヲ障害セザラシメンガ為メ消息子ヲ
挿入セス佐藤總監ト談合ノ上以後數日ノ經過ヲ待
チ容態ニ從テ處置スルコトナセリ

三十一日創口甚ク縮少シ頰部及ヒ眼瞼ノ腫脹モ著
シク減退シ眼底検査ヲ行フヲ得ルニ至リ生等ノ所
見ニヨリハ兩眼等シク健全ニシテ左眼ニ如何ナル損傷
ヲモ致見スルヲ得ズ

文 部 省

以後四日間ノ經過ハ甚ク佳良ニシテ消息子檢探并
ニ手術的療法ノ全然必要ナキニ至レリ
四月二日創口殆ント閉塞セリ

前數項ニヨリ之ヲ察スルニ彈丸ハ后頸部ニ存留セル
モ機能的障害ヲ来サズ且ツ創傷化膿セズ制腐的ニ
治療セシ残留彈丸ハ新生肉芽ヲ以テ包被セラレタルガ
故ニ此ノ彈丸ノ為メニ后患ヲ来ス如キハ生等ノ信セ
ザル所ナリ此ノ如ク創傷ノ經過治癒ハ好良平滑ナ
リ彈丸ノ所在ハ明ナラズ加フルニ患者ノ年齒已ニ高ク
其地位亦貴重ナリ是ヲ以テ生等ハ特別ナル手術ヲ
行フノ不必要ニシテ且ツ不可ナルコトヲ信シタリ然ル

810863

ニ創傷日ナラズシテ全癒し更ニ生等ノ豫想セシ所
ニ違ハガリシハ亦生等ノ幸ト云フベシ
四月四日午後馬關ヲ發シ歸途ニ就ケリ

文部省

2-0064

0290

18

810864

下関ニ於テ取被シ書類

秘録第四七一號ノ一

李鴻章遭難ニ付及外人感情
探聞ノ件

先徒小山豊太郎が清國媾和使節李鴻章ヲ負傷セシメタル件ニ付部下及外人ノ感情評議等ヲ注意探聞スルニ及國人ニ在リテ一般ニ之ガ爲メ連戦連捷ノ我國運ニ一大汚臭ヲ付着シタルヲ怒ミサル者無ク從テ先徒ニ對シ同情ヲ懷シ加チキ者ハ絶無ノ實況ニシテ其裁判結果ニ對シテモ當然ノ憂ムカト思料スル者ノ如ク轉シテ吾國外人ノ感想如何ヲ及偵スルニ初メ凶變ノ傳フルヤ外人一般ニ驚愕シ各國領事等々

兵・庫 縣

櫛カ各其公使ノ電報セシ趣ナルモノ今日ノ旅ニ別段惡感情ヲ有スル如キ模様無し彼等間ニ於テ三々五々評議スル所ヲ探聞スルニ或ハ凶變ノ爲メ媾和談判上幾分ノ障礙ト爲ル可シトシテ憂フル者アリ或ハ犯人ノ狂人ナリトシテ諒アリ果シテ眞ナラバ敢テ論難ス可キ限リニ止ラズ李鴻章ノ於テモ之ヲ憤リ談判ヲ中止シ歸國スルガ如キ舉動ハ爲サルベク清國政府モ亦李ヲ呼還ス等ノ處置ハ爲サルナラント云フ者アリ又條約改正ニ及對ノ意見ヲ有スル一二ノ輩ハ謂フ今日本國ノ政府ト人民ト間文明ノ度著シキ懸隔アリ政府ニ敢テ同然ス可キ臭無キモ

人民ノ進歩ノ猶低卑ニシテ其一例ヲ舉シバ
 先々魯國皇太子遭難ノ事アリ今又這回
 ノ災變ヲ見ルに至ル畢竟スルニ人民未ダ
 一般ニ文明ノ珍域ニ達セザルノ致ス所ナラ
 ナラズ從來吾々が条約改正尙早ニト稱
 道セシ所以ニ實ニ愛ミ存スト然レモ居
 留地全体ノ輿論ハ斯クノ如キノ説ヲ是認セ
 ガル又外字新聞ニ在リテハ神居クロニクル
 ニ今回ノ出来事ハ魯國今帝が先年
 大津ノ於ル凶變ノ緣因シ魯國ハ清國ニ
 向ヒ同情ヲ表スルナキ歟ト評セシ外格別
 注意ス可キ記事ヲ見ズ又米國人宣教
 師アウキンワンが或ル者ニ對シ評説セシ言ッ
 較ヤ詳密ナルヲ以テ其要領ヲ挙ゲンニ彼レ曰
 今回ノ凶變程日本ノ不利益ハ無カレ可シ日
 本ニ世界ニ對シ義戰ノ名譽ヲ博シ居タル
 今ヤ端無ク此名譽ヲ打消ス可キ出来事
 ニ遭遇シタルハ日本ノ爲メ悲マサルヲ得ス先
 年魯國皇太子ノ未達ハ元是一個ノ人ナリ
 シ然レモ李鴻章ハ一國ノ全權大使ナリ
 文明國が全權大使ヲ遇スル道ヲ充分ノ
 禮義ト保護タカフルニ在リ何レ國トモ其
 斯ル場合ニ飛揚リ者(壯士ヲ意味ス)有
 ルモノトシテ充分ノ警戒ヲ加フルハ通例ノ一
 日本人ノ別ニテ敵愾心ニ富ミ又日本ニ壯士
 ナル者多クハ政府ニ素ヨリ充分ノ警戒ハアリ

とならんモ獨り警察官ノミナラズ尚ホ兵士
 ヲ以テ嚴重ニ懲護ヲ與フルノ必要アリトナ
 うシ外國人ノ或ル者ハ斯ク思へる日本ノ民心
 ハ未ダ平和ヲ喜ハス軍隊ハ是非北京ヲ取
 リ城下ノ盟ヲ爲スミアラサレハ敢テ止マサル決心
 シ爲スモノナリ故ニ仮設李鴻章來ルモ媾
 和談判ハ成ラズ成立セカレ可ト傳又日本ノ
 壯士ナルモノハ實ニ不道德ニシテ正義ノ反對
 者ナリ日本ガ動モスレバ未ダ文明ニ達セサル
 カノ如キ批評ヲ受ル所以ニハ第一此壯士ナル
 モノ有ル故ナリ然ルニ政府ガ於テ之ヲ放置スルノ
 傾キアルニ如何聞ク所ニ依レバ衆議院議員
 ニシテ尚且之ヲ使用スルモノアリト是等ノ最モ
 其者ヲ罰スルノミナラズ之ヲ使用スル者ヲモ充
 分罰セザル可カラズ這般ノ媾和事件ハ英
 國ガ干渉スルナラント思ハル者アルモ英國ハ
 東洋ニ於テ新タニ屬地ヲ希望スルモノニアラス
 攸リノ野心アリトスルモノ單ニ石炭貯藏所位ヲ
 得バ夫レニ足リトスルナラン之ニ反シ魯國ハ東
 洋ニ良港ヲ得ント欲スルヤ久シ日本ノ注意ス
 可キ英國ニアラズシテ寧ろ魯國ナル可シ云
 々ト而シテ外字新聞記者中ニモ壯士ニ稱
 々嚴行シ短銃及仕込杖ノ携フ輩ヲ禁ヤサ
 ル可カラズトシ相アツキンフント同一ノ意見見
 有る者アリト云要スルニ多數外國人今日ノ

810867

感想迄変以來

天皇陛下ノ深ク震襟ヲ懣マセラル、ヲ我聞キ
神氣ノ毒ノ至リナリト諒察ホシ又各地ノ民
ヲ李鴻章ニ對シ續々慰問スルノ状況ヲ
見テ一般國民意思ノ存スル所ヲ解
セシモノ、如シ

右及申報候や

明治廿八年四月八日

兵庫縣知事周布云平



外務大臣子爵陸奥宗光殿

兵庫縣

2-0064

0294

大臣

次官

閣了

810868

七六三

廿八年五月十日 陸軍省 主務 政務局

機密修第百三

李鴻章の死行ヲ加ヘタル件ニ関シ當國
人士及新中派ノ感情

中山六之助ニ著スル李鴻章ヲ諒解シ内政ニ
要撃シテ負傷セシメタル付當國政府及
人民ノ感情如何ヲ電報可成者トモテ電
信亦同サレタルヲ接列シ感情如何ヲ
念フニテ諸新中派休戚戚也ト付翌日
少少リ通達セシニカルニ伯ノ機關新中
派セラルル所ノフレムデシブラストハ馬関暴撃ノ
電報ヲ揚義シタルノミナリ何答ニ評議ヲ加
サリシモノイエフライエアレセ新中派ハ當日ノ外相
閣内ニ於テハ如何ニ對シテ對シテ一敗セシ

隊ノ獲收シタル見事ナル成績ハ全軍明
諸國ヲシテ日本ハ尤モ修スルノ感情ヲ
生セシメタリしが惜ヒ外此如感情ノ一事件
おもたぬ少ノ節操セラレタリ日本ハ徳義
上ニ對シテ對シテ一敗セシ
モト謂ハサル可カラス蓋シ中山ノ行為ハ日本
人ニ對シテ股斷斷ノ如何ヲ學修シ先ニ
國ハ大博愛心トモテ於テハ真正ナル昇化
程度ニ達セサルト為達キヲ証シタルモノナリ
使臣外賓ノ抱久可カラサルモノナリトノ觀念
ハ日本ノ有セサル此ハ一子ハ百九十年
大肆ニ於テ當國皇太子ヲ傷ケタルガ如キ
又々回下ノ関ニ於テ李鴻章ノ死行ヲ

ノ評議ニ任自政ニ任リ先此此日ノイエフ
イエアレモ新少ノ李鴻章ニ宛行リ加ヘタル
由リ日本皇帝ガ々々圖景ニ与耶談判案質
ヨリ請求シタル休戦ヲ承諾セラレタルハ
家業ノ好ムト謂ハサル可ク夫レ而シテ皇帝
ノ此所爲ニ必ズ此所諾固ヨリ於テ好感
懐リ以テ迎ヘラレ置ルヤ山ノ宛行ニ由リテ
引起シ先悉感懐ヲ自然消滅セシムル
ニ至ラント評議シヨリ
云レリ要するニ山ノ宛行ハ當國ノ去ノ日
亦々當時ノ事ノ好感懐リ多少傷害
セシニお逆ナキモ諸新少休戦中此事件
ニ因テ評議ヲ提ケんモノ甚ダ拂シナリ

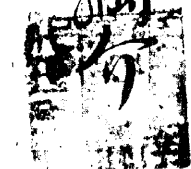
シヘ莫シ傷害ノ程有来メ甚ダ重大ナリナリ
シガ爲メナラシ
大中進シテ歌具

明治廿二年三月廿一日

在埃國

臨時駐埃使大臣岡

外務大臣岡田良宗光殿



64
LÉGATION DU JAPON
ROME

Copie.

Rome, 1st April 1895.

Monsieur le Ministre,

At my interview with Monsieur Adamoli on the 30th ult., I informed His Excellency that in view of the untoward event which took place on the person of the Chinese Plenipotentiary who is now in Japan to negotiate peace, His Majesty the Emperor Commanded Japanese Plenipotentiaries to grant unconditional armistice asked for by China.

I am now instructed to inform Your Excellency that a convention has been concluded between Japan and China to have an unconditional armistice for the period of ~~two~~ one days unless sooner terminated by the breaking off of the negotiations for peace. It is also understood that this armistice is limited to the military and naval forces in the provinces of Moukden, Pechi-li and Shantung.

Accept, Sir, Monsieur le Ministre, the renewed assurances of my highest consideration.

(Sij.) K. Takahira

His Excellency
Baron Blane
Minister for Foreign Affairs
of His Majesty the King of Italy

65
LÉGATION DU JAPON
ROME

810872

Copie.

6 Aprile 1895

Signor Ministro
Colla nota del 1° corr. la S.V. Illma
mi ha fatto l'onore d'informarmi che
il Giappone e la Cina hanno con-
cluso un armistizio incondizionato
che dovrà avere la durata di
giorni ventuno (a meno che prima di
questo termine intervenga la rottura
dei negoziati per la pace) e che sospende
le operazioni militari di terra e di
mare nelle provincie di Moukden,
Petchi-li e Shantung.

Nel ringraziare la S.V. Illma di
tale comunicazione, della quale ho
preso atto, ho rinnovato, Signor Ministro,
gli atti della mia alta considerazione.
Illmo
(segue) A. Blanc

Sig. K. Takahira
Ministro del Giappone
a Roma

内閣秘書

大臣

警務局

送第ニ五号

第四〇二二

李鴻章遺稿ノ件

最初下ノ関ニ於ケル事ハ鴻章遺稿ノ於
 於地ニ在リタルヲ初見ノ感懐甚ク
 レテ幾レト日本開化ノ上ニ於テ其ノ情
 有之者多シ事ハ右遺稿ノ件ノ如ク我
 々皇陛下ハ清國ノ哀求ヲ容レ一時休戦
 同意スヘシトノ勅令ヲ下シ修リトノ相
 道ニ感情ヲ相和キ其ノ本件ノ関ニ
 於テハ重立タル新關係ヲ築キ其ノ事
 モリ如ク一時間ニ過シタル有様ナリ
 種々ノ論議ヲ下スモノ又之ヲ其ノ其ニ
 抄録シタルニ列シ

清國駐日公使館

三月廿七日 シュルナルデ、サレヘテルスグーニ新聞ノ証
 直隸總督李鴻章ハ日清開戦和議
 於メ数日前下ノ関ニ到着セシ事同和
 テ先果者ノ如ク負傷モ如キ事ナリ
 関ニハ詳細ノ事情ハ如キ事ナリ
 報知セラル

最初ノ通信ニ加ふる者ハ愛國心ノ激
 中ノ右様ノ如キ如キ如キ如キ如キ
 三ハ先果者ノ如キ如キ如キ如キ
 層ニハ士ノ一人ナリト云ヘリ彼ハ自
 思フ國ヲ守ルヲ如キ如キ如キ如キ
 トスル我々我々我々我々我々我々
 件ハ関ノ上ニ明カニシテ其ノ事ハ日

朝廷法大也。高華貴也。ありあき、其に
親愛ノ事、情ヲ多ク又、議有ハ、本件、
付、哀悼ノ事、リ、表スト、決、海、お、シ、テ、回、情、
表、多、リ、表、氏、負、傷、輕、少、ナリ、シ、ム、ハ、奇、ナリ、ト
年、之、カ、お、メ、數、日、前、多、ク、總、東、ノ、二、帝、國、自、
健、使、ス、ン、解、開、リ、止、メ、シ、ノ、レ、ト、ス、ル、媾、和、使、お、シ、海、
帝、也、サ、シ、テ、ハ、今、國、共、同、利、益、ノ、上、ニ、於、テ、必、マ、
シ、キ、ヲ、ナ、リ、ト、ス、

(明治三十三年三月 露國宣慰)

今、ヤ、全、歐、洲、ノ、視、察、ハ、甚、タ、日、本、大、本、營、ノ、隣、
市、下、ノ、關、ノ、一、点、ニ、向、テ、注、射、其、力、シ、東、亞、將、
來、ノ、運、命、ヲ、決、ス、キ、媾、和、使、お、シ、法、界、如、何、ハ、未、
ク、之、ヲ、知、ル、ニ、由、ナ、キ、モ、兎、ニ、自、事、自、ハ、海、々、終、結、シ、也、

在露國日本公使館

カ、レ、ト、ス、フ、オ、ス、ト、ア、シ、ア、チ、レ、ス、フ、ル、レ、ス、お、シ、デ、ン、ト、新、聞、ノ、説、
ク、如、ク、今、回、清、國、カ、日、本、ツ、シ、テ、和、議、ヲ、肯、諾、セ、シ、ム、得、
ル、智、ト、ハ、其、國、係、ス、ル、ト、コ、ロ、然、ル、ニ、甚、大、ニ、ミ、テ、シ、ム、モ、
日、本、人、ノ、財、性、堅、固、ニ、シ、テ、智、力、ア、リ、且、ツ、非、常、
自、愛、ノ、精、神、ニ、富、ム、ノ、國、民、タ、リ、ツ、知、ル、ノ、人、タ、リ、
ニ、ハ、必、ス、輕、信、シ、之、ツ、觀、過、ト、モ、セ、ン、シ、若、シ、一、報、不、
肯、シ、テ、和、議、破、列、在、ス、ン、ニ、由、リ、ハ、東、亞、海、々、終、結、
未、可、有、リ、萬、難、ヲ、難、シ、ヲ、難、シ、ヲ、難、シ、ヲ、難、シ、ヲ、難、シ、
ハ、危、殆、ノ、域、ニ、陷、ル、ノ、ミ、ナ、ス、歐、洲、法、大、國、ノ、利、益、
モ、亦、リ、損、傷、ヲ、蒙、ル、ハ、其、レ、カ、ラ、シ、歐、洲、法、大、國、
亦、ハ、恐、ル、之、ト、大、目、カ、ス、ノ、意、見、ツ、有、ス、レ、氏、東、
洋、ニ、於、テ、將、キ、終、結、セ、シ、ト、ス、ル、此、東、亞、ノ、事、ニ、對、シ、歐、
洲、法、大、國、ノ、批、ト、キ、決、意、ヲ、論、ス、ル、方、リ、斯、ル、ニ、甚、

此問題ヲ要理スルニ必要ナル共同心ニ之レ
 々重立ルル法被(國)ヲ論ズルコトノ要點ヲ擧
 グレハ歐洲諸國ハ日本要求ノ度大ニ見テ
 東亞安寧スヘカウサンモルヤ故媾和談話ノ終
 結前ニ干渉ヲおスル必要ナリ。若シ日本ハ文
 明諸國ト列スル名譽ノ地位ヲ得ルニ道徳
 上ノ權利ノ外之ニ過シカニ其意ヲモ得ルモ
 ト欲セハ歐洲諸國ハ到底難過スル能ハスト
 ヲフニ在ルカ如シ。英國ハ新大ニ日本ト同盟
 シテ太平洋上ノ霸權ヲ握ルニテ其意又ニ
 細豆ニ欲スル有ルハ歐洲諸國ハ其好機ヲ乘
 シ諸國ヲシテ土地ヲ讓与セシメ自國版圖ノ擴
 張ヲ謀ルトト喧傳シタレモ其意モ信用スヘキ

在露國日本公使館

新聞ヲ據ルハ如キ傳說ハ其警戒ヲ加フヘキヲ
 ニシテ東亞ト直接ニ利害ノ關係ヲ有ルル
 諸國ハ其中俄國ハ實際ニ其企圖ヲ抱キ
 シモノアリトスルモ其種ノ事ハ其ノ之ヲ後日
 譲リタルハ先ツ失墜シタル情國ヲシテ其領
 土中ノ大部分ヲ日本ハ割占スルノ危險ヲ面
 シタルニ其同力セザルハカラスハ東海ノ
 大難全ク一憂シ其結果ハ殆リ諸國ハ其危
 險ナルニテ其東海ト改称及貿易上ノ利害
 ヲ同フスル諸國ノ地位ヲ及ストコトノ新案モ亦
 明ニ大ニ示レト。ハ歐洲諸國ハ日本ヲシテ其領土
 ヲ擴張セシムル能ハスル論ニシテ其新聞
 見ハ世人皆既ニ之ヲ知レリ。ハニエ、フレ、プレウス

新聞モ毎々如是キ言見ツ有シ中華國ノ
 中心ヲ侮キ之ツ倒伏セリト欲スル日本ノ決心ハ
 滿州ノ土地ヲ讓与スヘキスト勸告シタル清國
 信友即チ沈黙セシメ清國モ毎々之ヲ疑性
 信友シテ平和ヲ恢復スルノ望ナシ、歐西諸國
 ハ清國ノ法廷ヲ開放シテ万國貿易ノ市場
 充ルルノ必要ヲ説ケル日本ハ金々之ヲ反甚
 アリ故ニ歐西諸國ハ日英オヤ日本ヲ清國ノ土
 地ヲ割キ版圖ヲ擴ルルニ對テ得んノ望ミヲ失
 ヘリト謂フ、歐西ノ事如キ社存ヲ持テハ情
 國政府ノ提議セシ媾和談判ノ成立ニ難シ
 抱キ居ルカ果シテ是リ歐西諸國ノ共同干涉
 之望ニ悞解ハ米國ヨリ公然拒絶シ之ケ
 諸國ニテチ支那戰國ニ勸告シ速カニ東洋ノ
 平和ヲ再興スルノ希望ヲ失ハシメタリ、米國
 人ハ自己ノ請求ニミテ主張シ列國ノ共同干涉
 コレヲ益ニ錯雜困難ノ域ヲ陷ラシメタリ故
 ニ支那諸國ノ請求モ或ハ従前ノ例ニ準ジト一
 般日本ニテチ和議ニ肯諾セシメ得サヤニ難
 計知ル現今ノ情勢ハ兎ノ角一ムニ於テ俄
 突ニ平和ヲ希望スルノ望ナシ他ノ一ムニ於
 テモ和議ニ同意シる者ヲ信フセリトスル者
 リ只今一ノ困難ナルヲ情ハ日本ヲ持テ北京
 政府ヲ主張スルモノ多ク國民尙外ノ輿論
 頗ル旺盛ニシテ強レト之ヲ壓止スヘカランノ
 勢アリタリ、在リ、下ノ關係電信ハ忽チ

清國皇帝、派遣シムン、媾和使節あり
明治二十一年、駐米者、お大、統制、セシタリ
ト、佛、生、統制、ハ、外國、他、臣、ノ、神、聖、ヲ、犯
シ、ムン、モノ、ミ、テ、政、治、ヲ、ミ、テ、悲、痛、ナル、感、情、ヲ
抱、カ、シ、ム、人、ハ、難、ク、容、ル、ヘ、カ、ラ、ス、和、罪、者、ハ、素、ヨ
リ、相、あ、リ、ヤ、必、得、リ、之、久、シ、ト、考、ヒ、其、究、行、ハ
日、本、人、ノ、短、而、ヲ、明、示、シ、政、治、ノ、外、略、上、制、度、
ヲ、利、用、シ、ム、東、亞、四、國、カ、政、治、文、明、ノ、外、装、ヲ
以、テ、掩、蔽、ス、ム、暗、黒、ナル、面、面、ニ、向、テ、世、人
ノ、注、視、ヲ、促、セ、リ

(三月三十日、ジュネーブ、セペテン、新聞、ノ、証)

和、國、電、報、社、昨、日、甘、ノ、通、信、及、本、日、他、報、
セ、ン、テ、ル、電、報、社、ハ、シ、レ、ト、レ、ハ、府、政、電、報、社、ニ

在、露、國、日、本、公、使、館

由、レ、ハ、日、本、皇、帝、陛、下、ハ、日、本、以、府、ヲ、於、テ、休、養
ヲ、必、儀、ス、ヘ、シ、ト、ノ、方、リ、素、増、多、ク、通、信、ス、ヘ、キ
訓、令、ヲ、下、ノ、関、ニ、在、ル、日、本、ノ、全、權、委、ト、シ、ム、
ヲ、レ、ヨ、リ、ト、モ、リ、法、通、信、ハ、日、本、ノ、利、益、ニ、於、テ、日、本、以、
從、然、ヨ、リ、出、テ、シ、モ、ノ、ナ、リ、ト、ノ、ナ、レ、ハ、其、確、定、ナ、ル、
難、ナ、ル、ト、シ、而、シ、テ、法、報、ヲ、ノ、意、要、ナ、ル、ハ、喋、々、
要、セ、サ、レ、ト、シ、能、ク、自、信、セ、ル、意、上、練、兵、智、ノ
寄、付、ハ、後、ヲ、快、方、ナ、ル、ヲ、以、テ、一、時、中、止、ス、ル、ヲ、ナ、キ
ヤ、ト、杞、憂、モ、靖、和、談、話、再、ラ、開、始、シ、テ、各、國
文、部、ノ、利、宜、ヲ、調、和、ス、ル、如、キ、條、約、ノ、決、定、ヲ
見、ル、ニ、至、ル、於、其、談、話、ノ、進、行、セ、リ、吾、人、ノ
希、望、多、ク、ス、ル、ト、コ、ロ、ナ、リ

(三月三十一日、ノ、ウ、オ、エ、ウ、レ、ミ、ヤ、新、聞、ノ、社、説)



日本皇太子ハ清國ニ赴スル豫聞ヲ中止セシ
 ムアリトノ露國電報社ノ昨日付通信ハ本日
 接収シタルニシテハ府署電報ヲ至ル正確
 ナ事實トナレリ、日本皇太子シテハ在キ電報
 ニ出テシメタル理由ナリトテ前記電報社ノ説
 ヲ聞クニ、同國皇太子ハ下ノ閣ニ於テ清國使臣
 共ニ痛悼ノ意ヲ表スルハハ清國ノ請求ヲ
 容レ休養ニ同意スルハハ負傷シタル者ナキ
 事傳道セシメラルト

日本皇太子ハ在キ電報社ニ於テ清國政府并
 露國政府ニ對シ日本政府ト兎行者ハ全
 ク及第ノ地位ニ立ツノ意ハ表示セラルト、

在露國日本公使館

東京ハ既ニ明瞭ナリ然ルニ日本ハ露國
 ノ請求ノ意ニ嫌和ヲ取ルハハ露國ノ日清
 事變ノ關係ヲ有スル露國政府ノ注視ヲ他方
 轉向セシメラルト、一演劇ニ過キス云々、凡
 ソハ露國政府ノ注視ヲ有スル露國政府ノ注
 下ノ閣ニ於テハ親善ノ一件モ亦日本政府ノ不
 利ニ對シテハ解釋ヲ下タスモ能ク見聞スルハ
 日政府ノ風ニ懸念スルニヨリテハ、此際前
 記ノ如キ誤解ノ風評ヲ除クニ得んハ只今事實
 ヲ以テ之ヲ知スルニ在リ、現ハ日本皇太子ハ在
 京ニ在リ、休養ノ請求ヲ容レタルハ全ク此ハ
 誤傳ヲ過クハ必要ナシ、一實ハ此トナヘシ云々

(以下省略)

810879

右中老老と申すは本邦

明治廿八年四月下

在書

特許金権公使西郷三

外務大臣子爵陸奥宗光



在露國日本公使館

2-0064

0308

810880

次官

丁

二三

記録課長

明治廿八年五月廿一日起草
同年五月廿一日發遣

主任

政務局

中記

親康親展

外務大臣寺島武久

内閣總理大臣伊藤博文

李鴻章運船開出露國

新南洋事件

外務省

追殺李鴻章運船開出露國

ニ於ケル程ノ海軍客員リハテ露

西ノ使ヲ別隊ニ通リ報告有之リ

右ノ如ク通リ也

印書館